

**旧霧島東中学校跡地の有効活用策を問う**



木野田 誠 議員

**問** 旧霧島東中学校跡地の今後の整備計画、有効活用策はどのように予定しているのか。



旧霧島東中学校跡地

**答** 新年度当初予算に、跡地の排水対策、トイレの設置、グラウンドの整備費等を計上している。利便性の向上も図られるので、地域の方々も有効

に活用してほしい。また、将来、防災面から、ヘリポート等についても考えていく。

**防災行政無線について**

**問** 屋外スピーカーの音が聞こえない、聞き取りにくいという意見が多い。またメロディー放送は最後まで流せないか。

**答** 今後、屋外スピーカーとコミュニティ無線を接続することで、聞き取り易くなると思う。今後も継続的に対応を検討していく。

屋外スピーカー設置場所の再見直しについては、今後、実行の可能性を探り、情報過疎のないよう検討する。なお、夕方の「夕焼け小焼け」のメロディーは、最後まで流すようにする。

**無断転用農地に交付した補助金は適切に処理せよ**



岡村 一二三 議員

**問** 交付金は国民の血税である。横川地区の二団地に交付した補助金が農地利用されていない農地が一筆含まれている。補助金適正化法違反、当該団地に交付した交付金は遡及返還事案ではないか。

**答** 直接支払制度は、農業条件不利地において5年以上農業を続けることを約束した農業者に対して交付金を支払う制度である。指摘された農地は、協定当初の認定時から荒廃状態で、認定できない土地が認定され、補助金交付を受けていたことが判明した。補助金返

納に向け県と協議中であり、国・県の方針に従い適切に処理する。

**農地法・農振法違反内容を示せ**

**問** 農業委員会は農地の一筆調査を行っている。調査後、農地の有効活用の促進が図られたのか。また、農地法・農振法違反への指導件数は何件か。

**答** 平成22年度から24年度まで、4300筆、約429ヘクタールに対して指導通知を発送し、559筆、約71ヘクタールの耕作が再開されている。農地法違反による指導件数は94件、追認許可正が63件、農地復元正が11件、残り20件は指導しているが是正に至っていない。

**その他の質問**

・野良猫対策について

**創業支援事業計画の認定に向けて、策定を急げ**



中村 正人 議員

**問** 産業競争力強化法の施行における、本市の見解と取り組みを問う。また、創業支援事業計画の認定に向けて早急な策定が必要ではないか。

**答** 平成25年12月4日に成立、本年1月20日に施行された「産業競争力強化法」は、「日本再興戦略」に盛り込まれた施策を確実に実行し、日本経

済を再生し、産業競争力を強化することを目的としている法律である。国は「開業率・廃業率が米・英国並みの10%台」になることを目指し、地域の創業を促進させる施策として、市町村が民間事業者と連携し、創業支援を行うべく取り組みを応援するためにできたものと理解している。関係機関としっかりとした体制を構築していかなければならないが、資金的なもの、さほど必要としないので、認定申請に向けて、商工会議所、商工会と協議を行い、早急な手続きができるよう進めている。予定ではあるが、申請を行うという考えで現在進めている。

**センターラインの早期整備を**



宮本 明彦 議員

**問** 市内各所でセンターラインや横断歩道の道路標示が消えている箇所を見かける。市道の道路管理者として早期に整備を進めるべきではないか。

**答** ラインの引き直しが必要な箇所は、本年度末で、延べ346kmある。道路パトロールでの情報収集を強化し、市民の皆様からの意見を聞きなが



センターラインの消えた道路

ら交通量多い道路を優先して、計画的に引き直しを進める。

**事務事業評価で改善を計画的に進めよ**

**問** 事務事業評価表に、毎年同じ課題を記載している事業がある。課題解決を進めているのか。改善が進めやすい記述様式に変更する考えはないか。

**答** 事務事業評価表の中には、改善が見られない事務事業もある。評価表の様式や管理方法について見直しを行い、評価表のチェック機能の向上や評価結果による改善の進捗状況の確認に努めた

**事務事業評価表**とは、個別の事務事業について、政策体系と照らし合わせながら、事業の目的と実績(成果)等を「目的妥当性」「有効性」「効率性」「公平性」の4つの視点で評価し、今後の事業の方向性(改革・改善)を見出すことを目的とする評価です。なお、事務事業の評価表は市のホームページでご覧いただけます。

**地域まちづくり計画書について**



時任 英寛 議員

**問** 平成26年度の各地区まちづくり計画を策定準備中であるが、25年度実績で当該計画書の策定地区数を問う。

中山間地域の地域活性化へ向けて、地域特性を生かせる計画書と認識するが、市の職員のサポート制度を含め、現状と課題を問う。

**答** 地域まちづくり計画は、10年後のあるべき姿を見据え、それぞれの地

域の特性を生かした独自テーマ、目標を設定し、その実現に向けて住民が知恵を出し合い「自助・互助・公助」による活力ある個性豊かな自立した地域づくりを行うための計画である。この計画は、平成26年度までに79地区で策定され、未策定地区が10地区、うち4地区は現状分析を行う予定であり、職員280名を地域まちづくりサポーターとして全地区自治公民館に配置し、地域の意見が十分反映された計画策定を目指している。

**その他の質問**

・交通安全対策について  
・ふれあいバスについて  
・観光立市霧島の危機管理について



国分陸上競技場

**問** 国分陸上競技場は、第3種公認施設であるが、トラック曲走路が6レーンのため県レベル以上の大会誘致が困難だ。県内の公認競技場はすべて8レーンである。国分陸上競技場も8レーンに改修できないか。



阿多 己清 議員

ど、競技場全体の改修も必要となることから現時点では困難だ。今後において検討したい。まずは国体開催のための施設整備を優先させたい。

**サイレン吹鳴は必要か**  
**問** 準人庁舎では毎日、正午と午後5時にサイレンを吹鳴しているが、庁舎前には高校もある。当初の目的でもあった時報的な役割は終わったと思うが、吹鳴をやめるか、音楽かチャイム等に切り替えられないか。

**答** 準人では5か所の消防詰所等でサイレン吹鳴を行っている。設備の不具合も発生しているの

で、サイレン吹鳴については、メロディー放送への切替えを含めて早急に地域等と協議したい。

**その他の質問**  
・国分中央高校の活性化について  
・2020年国民体育大会の取組状況について

**市議会を傍聴してみませんか**

**受付場所** 議会棟4階

**手続き**

傍聴人受付簿に住所と氏名を記入  
・3月定例会では延べ56人の方が本会議を傍聴されました。  
・次の6月定例会開催日程(予定)は20ページをご覧ください。



傍聴席から見た議場